

1

あやちゃんの青いラジコンカー

しょう太くんは小学一年生。

きょうはお友だちのあやちゃんが、今、一番大事にしている

おもちゃを持って遊びに来ることになっています。何を持って来るのかな。

しょう太くんはとても楽しみにしています。



「でもね、あやちゃんはすぐ『私のほうがおねえさんよ。』って言うんだよ。あやちゃんは4月生まれでぼくは10月生まれだから。」

ピンポン。



「あ、来た来た。いらっしやーい。」

あやちゃん、大事なおもちゃ、持って来た？」



「しょう太くん、こんにちは。持って来たから一緒に遊ば。」

あやちゃんは、持って来た大きなふくろの中から、大事そうに、おもちゃの入ったはこをとり出しました。



「じゃあ、見せてあげるね、これが私の一番大事なものの。じゃーん。」

それは青いラジコンカーでした。しょう太くんはびっくり。



「えー、あやちゃん、車が大事なものの？」

ぼくもいま、ミニチュアカーが一番大事な宝物なんだよ。」



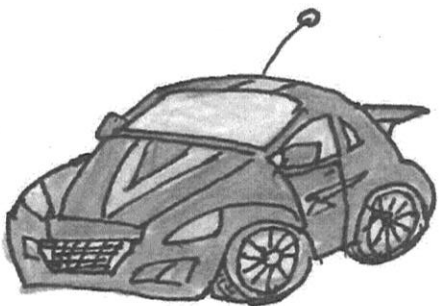
「そうなの？ 見せて、見せて。すごい。いっぱいあるのね。」



「ね、すごいでしょ。」



「私もミニカー持ってるわよ。でも、今は、ラジコンカーが大好き。ほら、こうやると前進。右に転回。」





「ぼく、あやちゃん、お人形さんかぬいぐるみを持って来ると思ったよ。」



「お人形さんも好きよ。ぬいぐるみも好きよ。でも、ラジコンカーは前からほしくて、ずっとおねだりしてたの。小学生になってから、たくさんおてつだいたので、買ってもらったの。だからね、今はこれが一番好きなの。」



「へえー。それ、かっこいいね。」



「そうでしょ。これはカーレースに出る本物とそっくりなのよ。タイヤのところだって本物みたいでしょ。私はしょう太くんよりおねえさんだから、宝物だって、しょう太くんより大人っぽいのよ。」



「ほらー、またすぐに、おねえさんって言っていばるんだよ。なんだよ。あやちゃんは女の子なのに車が好きなんておかしいよ。へんなの。」



「おかしくないわよ。女の子だって、車が好きでもいいでしょ。それに、すぐに女の子だからって言うの、おかしいわよ。私、大きくなったら、車を作る人になりたいんだもの。」



「女の子が車のおもちゃが好きなんて、おかしいよ。色も青だし。青は男の色だよ。それに、車を作るのは、男の人の仕事でしょ？」



「そんなこと言う、しょう太くん、きらいよ。」

あやちゃんは、ぶん、と怒って、帰ってしまいました。

